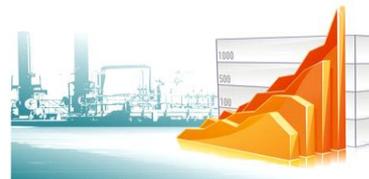


ぎふ経済レポート



平成29年6月分
岐阜県商工労働部

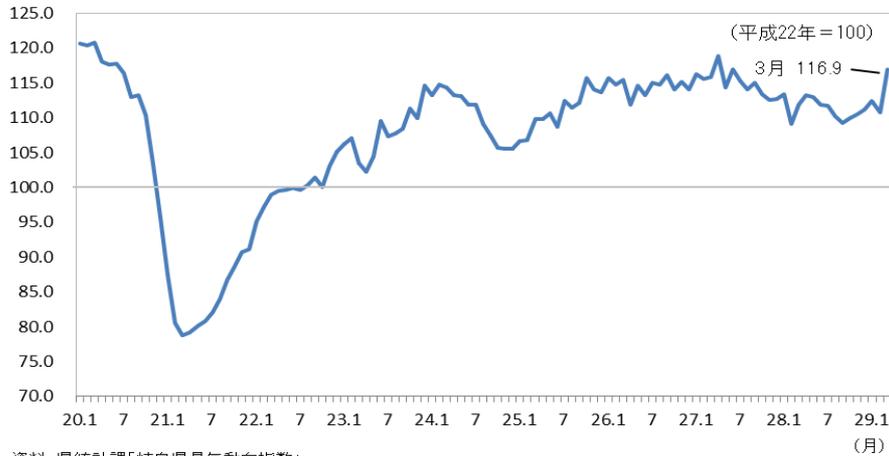
※企業等へのヒアリングは 6月26日～28日を中心に実施し、7月7日に作成。

景気動向

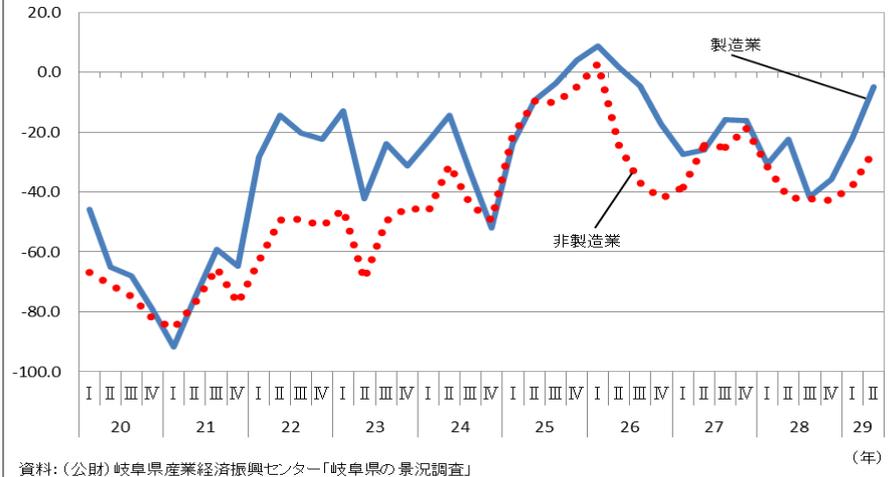
- 3月の景気動向指数(一致指数)は、116.9と前月比6.1ポイント改善した。
- 5月の県内中小企業の景況感(好転-悪化)は、マイナス19と前月比プラス1ポイントと若干改善した。

- 平成29年4-6月期の景況感(増加-減少)は、製造業17.1ポイント、非製造業11.5ポイントの改善となる。
- 売上高DIは、製造業が14.2ポイント改善、非製造業においても8.5ポイント改善となった。

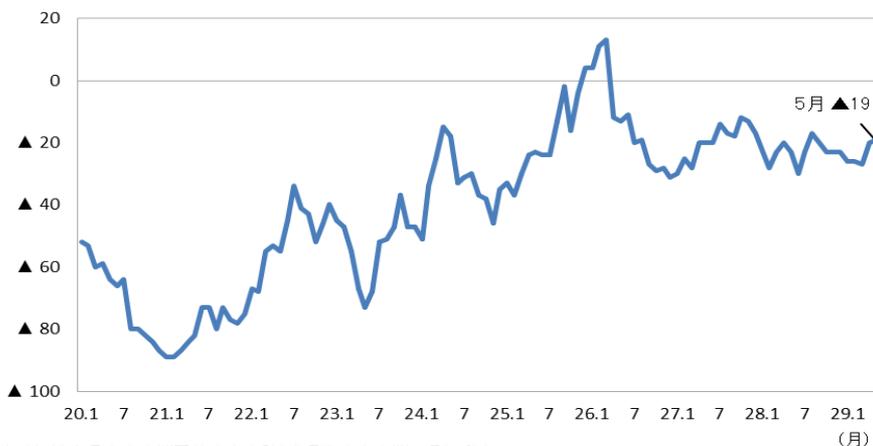
岐阜県景気動向指数(一致指数)の推移



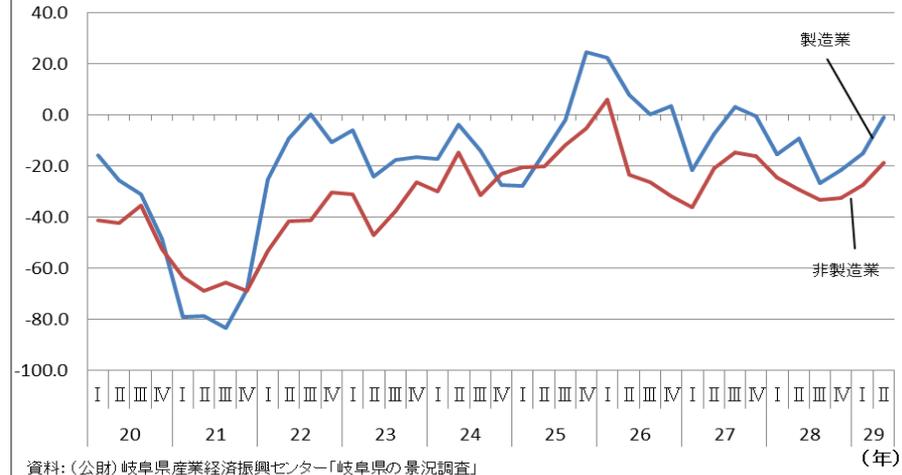
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



県内中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

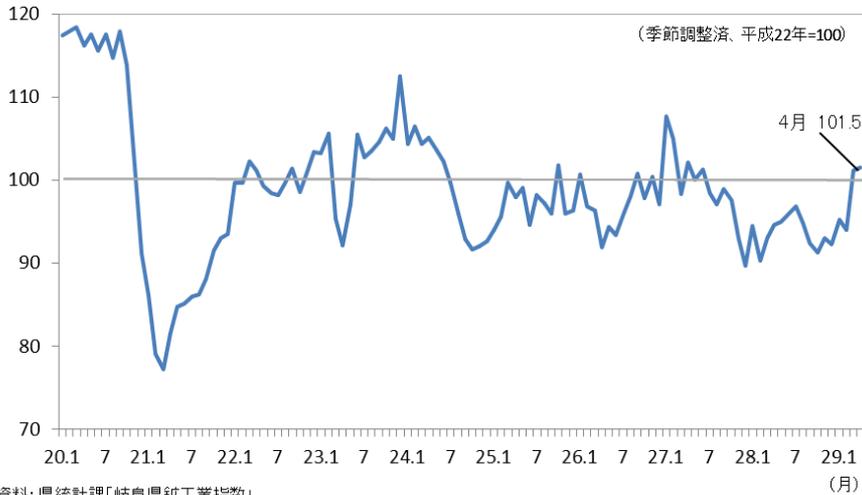


製造業

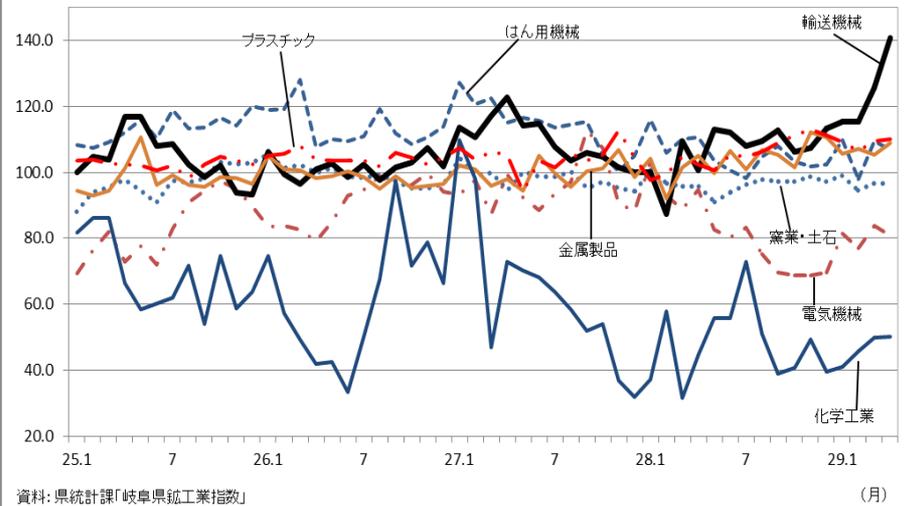
- 4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.4ポイント微増し、101.5となる。
- 3月に引き続き、高水準を維持している。

- 4月の主な産業の指数は、はん用機械、電気機械、窯業・土石を除く産業で前月より増加。
- 特に輸送用機械は140.9ポイントで平成20年1月以降の最高水準を記録。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数 (季節調整済、平成22年=100)

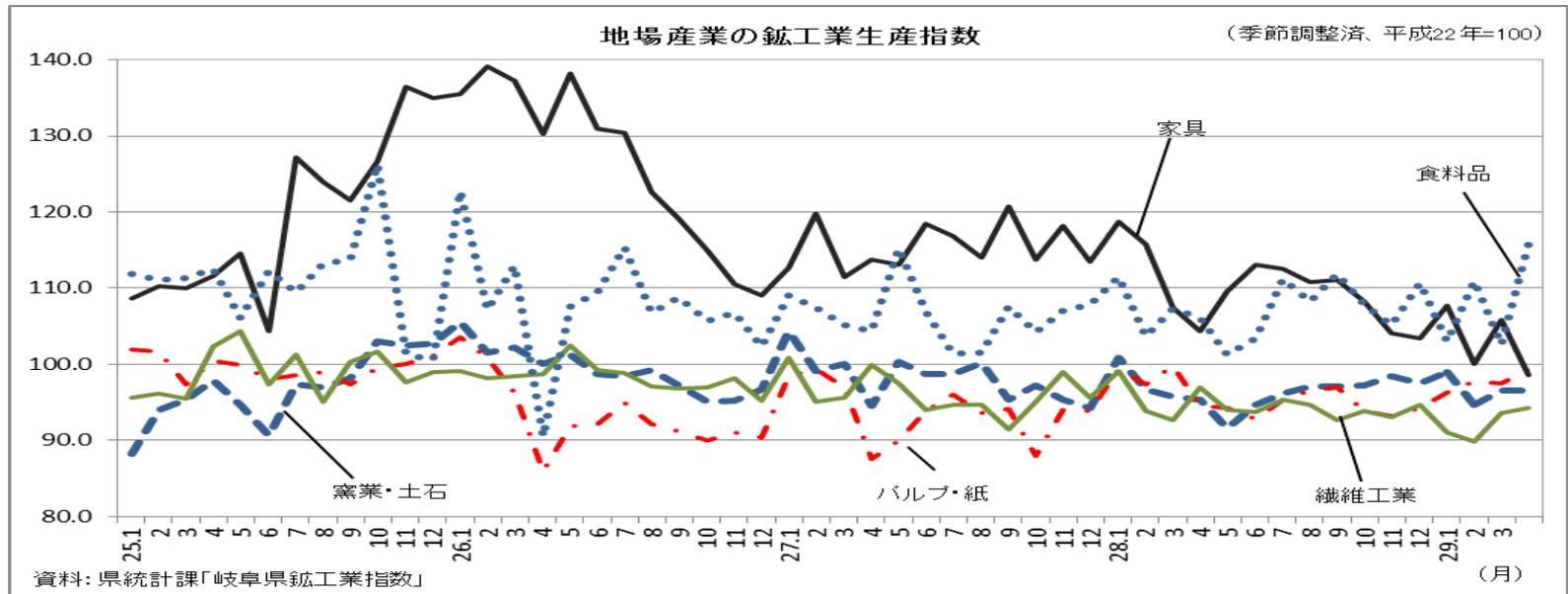


現場の動き

- ◆ 売上、受注ともに堅調な状況で対前年比2%程度の増加を見込んでいる。(輸送用機械)
- ◆ 引き合いが多く、生産能力の限界に近い生産が続いている。先期の決算は対前年比7%増加。今年度もさらに数%の伸びを見込んでいる。(輸送用機械)
- ◆ 大口得意先の手自動車部品メーカーで海外向けのダイキャスト製品の受注が伸びているため、前年同月比で約10%売上が伸びている。7月以降も好調を維持できる見込み。(生産用機械)
- ◆ 受注は下方基調にある。前年同月比でみると概ね1割程度少ない状況が続いている。(はん用機械)
- ◆ 中型の工作機械はまあまあであるが、大型の工作機械の輸出が伸びておらず、売上は10%程度減少。中国の景気に連動しており、中国の景気動向は注視している。(生産用機械)
- ◆ アイスコーヒー容器の販売が好調。売上高は前年同月比2%増加しており、順調に推移すると予想(プラスチック)

製造業-2

- 4月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、家具、窯業・土石以外の産業において前月比増加しており、地場産業の生産には若干持ち直しの傾向が見られる。
- 家具製造業は平成23年10月以来5年6か月振りに指数が100を下回っており、上げ下げを繰り返しつつ徐々に低下傾向にある。

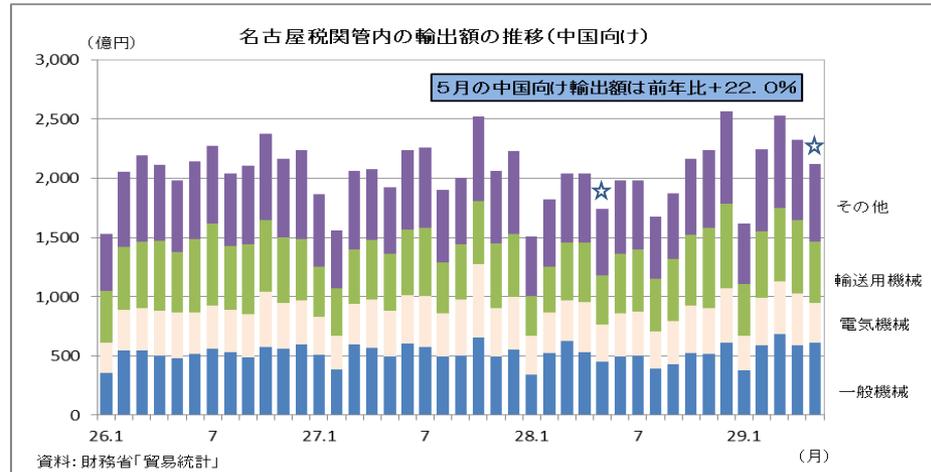
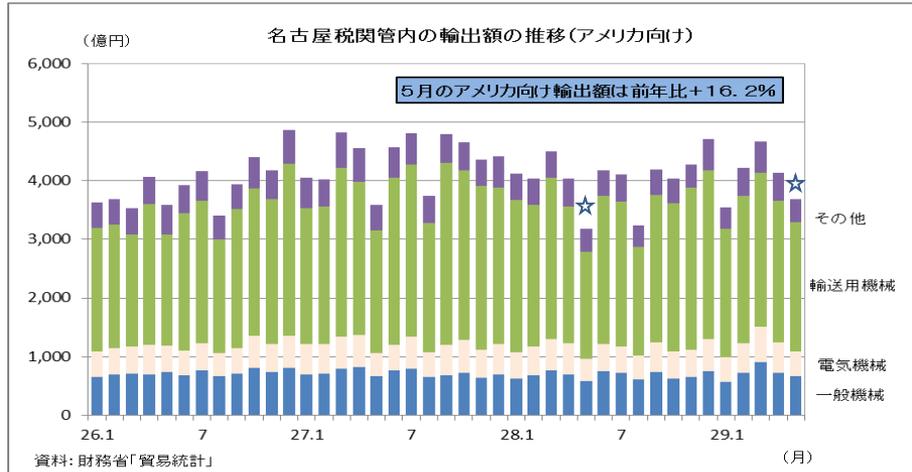
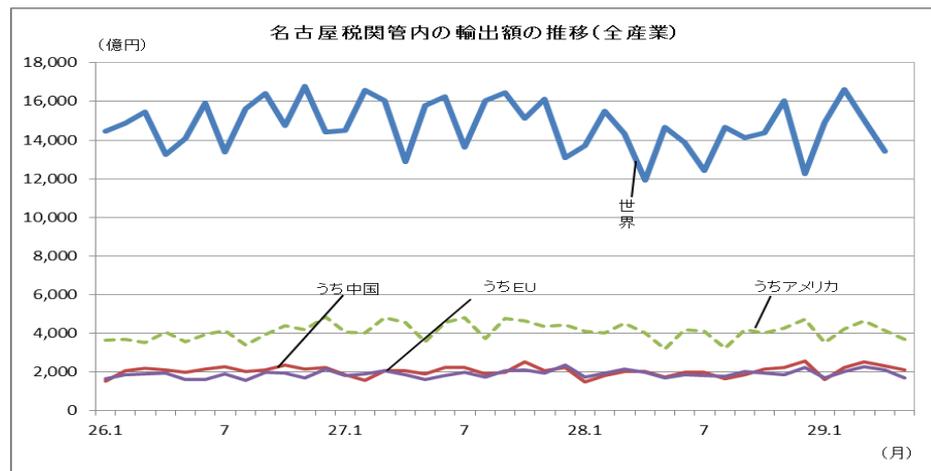
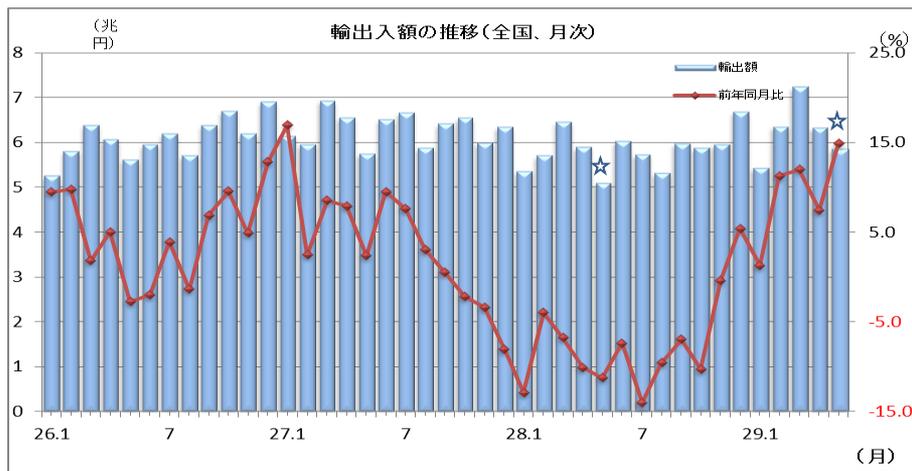


現場の動き

- ◆景気は悪い。売上が前年同月比10%程度落ち、人も減らした。(アパレル)
- ◆国内は外資を中心に厳しいと聞いているが、輸出向けは好調。特に品質は高いが廉価なものが好調。(陶磁器)
- ◆売上は前年同期比で数%増加。輸出が多いので、今後円安傾向が続けば上向くと考えている。(刃物)
- ◆売上は減少傾向。紙業界のどの企業も自社ブランドの製品作りに向かっており、市場は飽和状態。(紙業)
- ◆厳しい。前年同時期よりも売上が落ちている。(木工)
- ◆業況に特段の変化は無いが、2~3月に実施した商談が成約となり、今後売上の増加が期待できる。(食料品)

輸 出(名古屋税関管内)

- 5月の輸出額(全国)は、5兆8,511億円と前年同月比14.9%増加し、6ヶ月連続で増加となった。
- 5月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆3,402億円で、全産業において前年同月比で増加した結果、全体で同12.2ポイント増加し、4ヶ月連続して前年を上回る。
- うちアメリカ向けは、全産業で増加し、前年同月比16.2%の増加。うち輸送用機器は20.6%の増加。
- うち中国向けは、4ヶ月連続で全産業で増加し、全体で同22.0%増加と、大幅な上昇が見られる。特に一般機械で34.1%増加、輸送用機械では24.1%の増加とそれぞれ高い伸びを示している。



為替・原油価格の動向による影響について

- ◆電気やガスの料金など、エネルギーコストがやや上昇気味。(輸送用機械、非鉄金属製品、食料品ほか)
- ◆円安により工作機械の輸出が増えれば、当社の受注も上向きになる可能性があるが、一段の円安についてはあまり期待ができない。あまり過度な変動がなければ良い。(はん用機械)
- ◆原材料価格は上がっているため、値上げをお願いしている商品がある。(刃物)

働き方改革への取組みについて

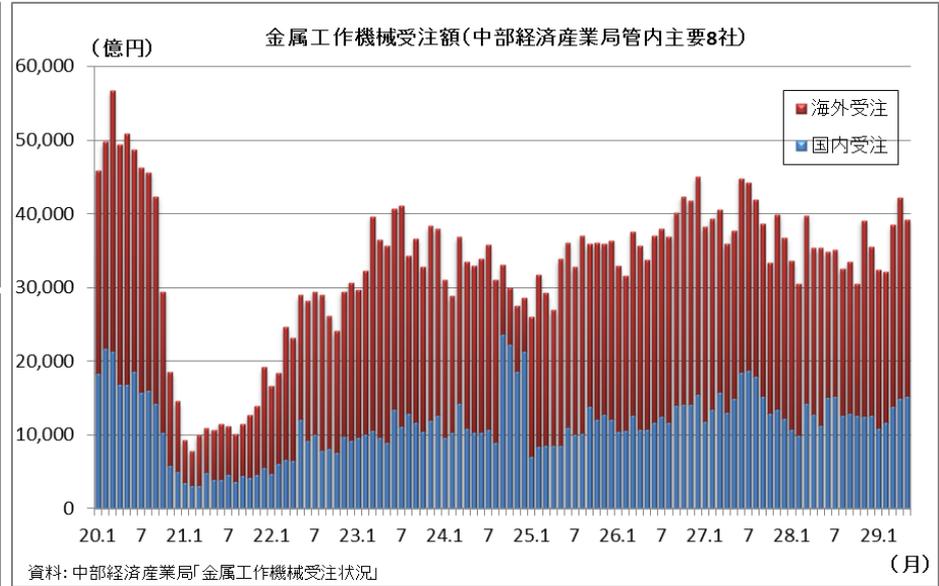
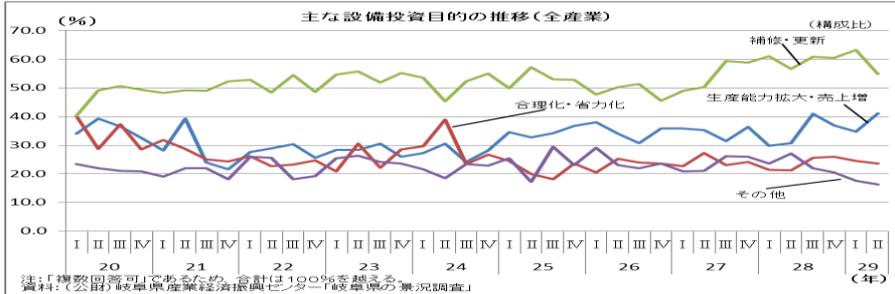
- ◆女性社員を対象とした、マネジメント研修やリーダー研修を実施。(食料品製造)
- ◆もともと時間外労働が多い社風なので、残業を減らすべく、今年度より部署ごとに削減目標を決め、時間外労働の削減を図っているほか、業務の効率化のための改善策を考えている。(輸送用機械)
- ◆フレックス勤務を導入済。残業の多い人に対し、管理職にアラートが出る仕組みを取り入れた。また、介護等に役立ててもらうために利用できなかった有給休暇の積立制度を作ろうと思う。(輸送用機械)
- ◆6月より月の第4金曜日をノー残業デーに設定し、試行を開始した。(生産用機械)
- ◆受注量が増加した場合には派遣で調整するなどして、残業時間が多くならないように配慮している。(金属製品)
- ◆残業低減に取り組んでいる。水曜日をノー残業デーとしている。(プラスチック製品)
- ◆男性社員の子育てを支援するため「配偶者出産休暇制度」を導入。在宅勤務試行を本部から営業店へ拡大。(金融)
- ◆雇用を維持する為に必要なことと認識を持ち、休暇の取り方や就労環境の改善を社内で検討中。(建設)
- ◆ノー残業デー、リフレッシュ休暇、時差出勤の導入やメンタル研修の実施など、福利厚生面に取り組んでいる。(運送)
- ◆昔と違い給料よりも休みやシフト、職場環境を重視する人が多い。働きやすい職場にすることを重視。(小売スーパー)

業界トピックス・トレンドについて

- ◆タカタの破綻は衝撃的であった。破たんまで至ったのは高シェアが裏目になったのかもしれない。(輸送用機械)
- ◆英国のEU離脱を受け、英国内のトヨタ車生産をEU内で関税のかからないドイツへ徐々に移管していくとの話。(輸送用機械)
- ◆機能性表示食品やプロテオグリカン(健康食品、医薬品等の原料)の市場が急速に拡大している。美容・健康効果の科学的な証明に加え、商品を使用した消費者の反応が良好であることが要因。今後も市場規模の拡大を見込んでいる。(食料品製造)
- ◆材が無い状況で、中小の製材企業は厳しい。企業の数がどんどん減っていくと考える。(製材)
- ◆2月に車両を購入したが、特殊車両の通行許可事務が遅れているため、ほとんど動かさない状況が続いており困惑している。
- ◆昨今の流れの中で、多少荷主側の認識も変わり始めており、運賃改定交渉に成果が出始めている。(以上、運送)

設備投資

- 平成29年4－6月期の設備投資実績は1.9ポイント減少したものの、設備投資意欲DIは3.6ポイント増加と設備投資への意欲は改善している。目的別では、「生産能力拡大・売上増」が6.4ポイント増加しており、好調な業績を受け、さらに生産能力の拡大に舵を切っている様子が伺える。
- 平成29年5月の金属工作機械受注額は、海外受注が前年同月比0.7%の減少となったものの、国内受注が同34.9%増加と大幅な伸びとなり、総受注においても同10.7%の増加となった。



現場の動き

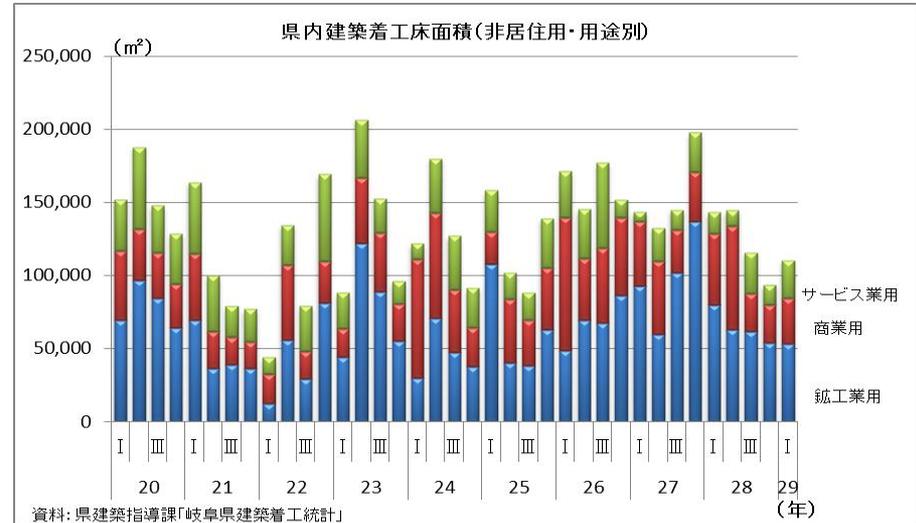
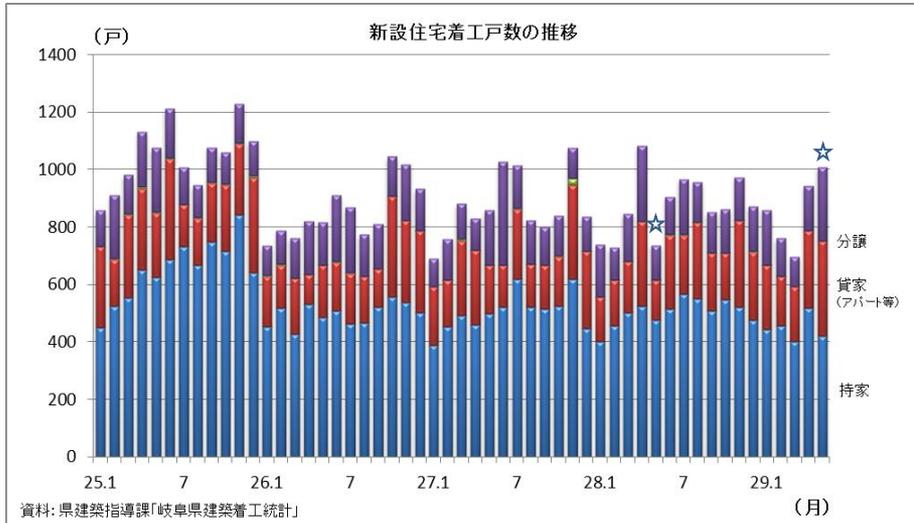
- ◆これまで予定していた設備投資以外にも、新たな受注の引き合いがあり、具体化すればさらに投資する。
- ◆出荷量の増加に伴い倉庫の建設が必要になっている。また、伸線機については、来季も増設を予算化。
- ◆6月に塗装ラインを4億円投資して更新。現在試運転中で7月から本格稼働する見込み。(以上、輸送用機械)
- ◆工場隣地に土地を購入しており、工場増設を予定している。(生産用機械)
- ◆自動走行技術の進展に期待している。すぐに実用化されるとは思っていないが近い将来には導入されるだろう。
- ◆TPPをにらんで、西濃地域に物流拠点を設けたが、当てが外れた。東海環状の西回り完成に期待。(以上、運送)
- ◆設備投資をしたいが、先の見通しが立たないので躊躇している。(製材)

住宅・建築投資

○5月の住宅着工戸数は、前年同月比36.9ポイント増加し、3ヶ月ぶりに増加に転じた。

○持ち家は11.7%減少と3ヶ月連続で減少しているが、貸家が39.1%、分譲が13.2%それぞれ増加しており、全体を押し上げた。

○平成29年1-3月期の建築着工床面積は、サービス業が前年同月比7.6ポイント増加したものの、鉱工業が同18.8ポイント、商業用が同11.9ポイント減少し、全体でも同23.0ポイントの減少となり、3期連続で減少した。

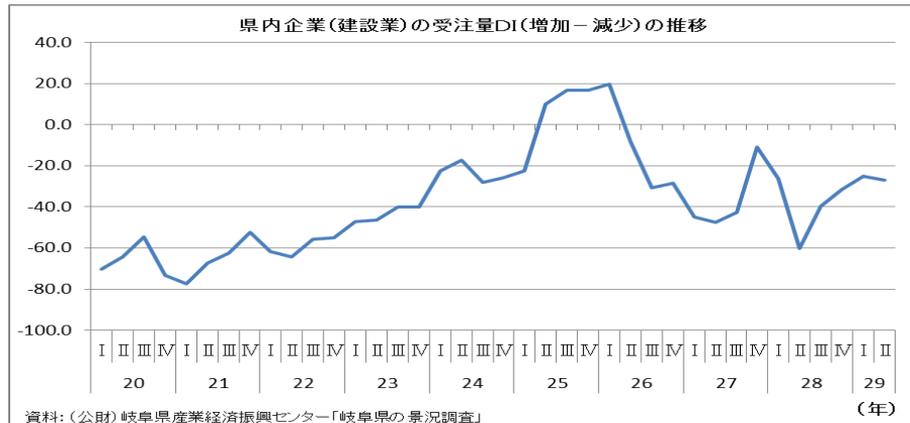
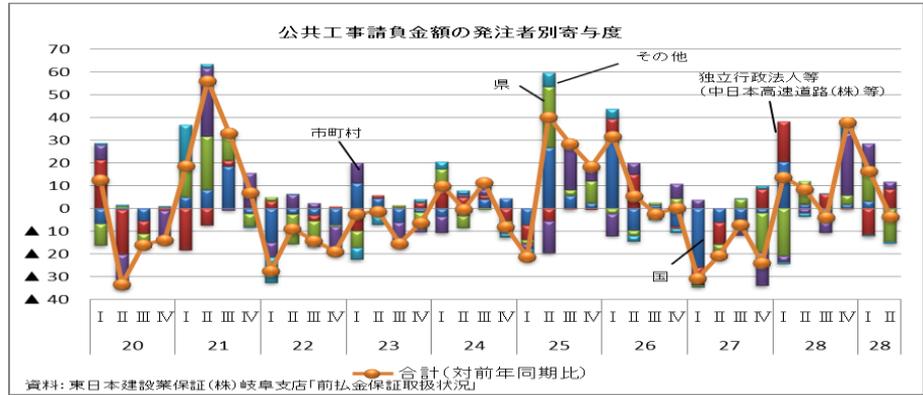
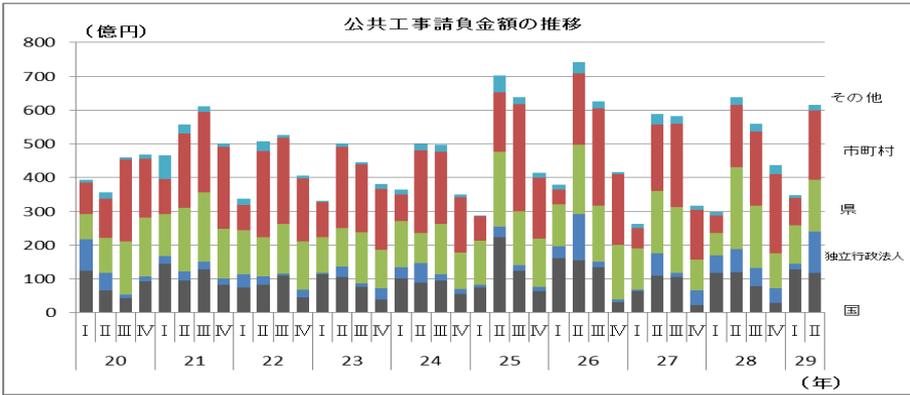


現場の動き

- ◆県内の展示場の集客、受注は良くない。県内のリフォームの受注は順調。(住宅関連)
- ◆売上は横ばい。材が無い状態で、年度当初より悪くなっている。材が無いので受注が受けられない。(木材加工)
- ◆5月は全体で前年同月比111%。受注状況は住宅が落ち着いてきており、受注量が減っている。見通しは不明。(製材)
- ◆市場の動向として、価格面ではスギ・ヒノキともに横ばい。売り先の需要が少ないため、出荷量は例年のこの時期と比べて少なく、民間事業者からの出荷量も依然として少ない状況。(木材市場)
- ◆在来工法ではいろいろな部材があるため、様々な規格の材木が必要であるが、原木に品質の悪いものが多く、原材料の確保も難しい状態。ある程度の在庫は必要だが、在庫が減っていつている状況。(製材)
- ◆製紙パルプ向け広葉樹原木は、受入制限となっている。工場に相当量のストックがあるため一年程度はこの状況が続くと思われる。この時期に出荷される原木の材質は良くないため、買い控えがある。(森林組合)

公共工事

- 平成29年4－6月期の発注者別の公共工事請負金額については、独立行政法人が前年同月比プラス83.2%と大幅に増加し、市町村も同10.8%増加した。
- 県内建設業の受注量DIは前期比1.8ポイント悪化したものの、同採算DIは9.9ポイント改善した。



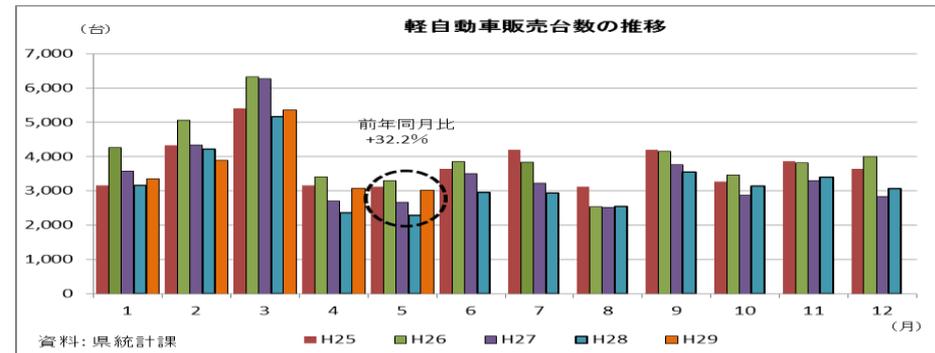
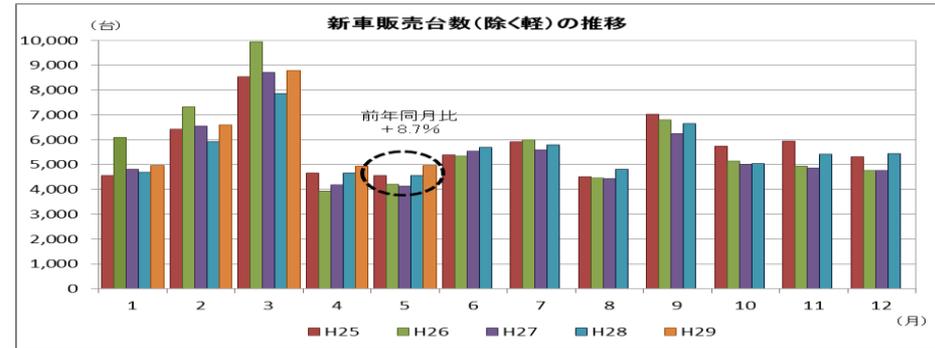
現場の動き

- ◆昨年度より受注状況はよく、前年同月より受注は増加している。
- ◆技術者の不足を感じている。新卒も例年の半分程度しか採れていない。ゼネコンへ人が流れているように感じる。
- ◆作業員は、工事がひと段落しており、比較的余裕がある。
- ◆ICT関係投資については、企業間で差が出ている。(以上、建設業者)

個人消費(流通・小売)

- 4月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9ポイント増加し、3ヶ月ぶりに増加となった。
- コンビニエンスストアの4月販売額は、前年同月比3.3%の増加と、引き続き堅調な販売額の伸びを示している。

- 5月の新車販売(除く軽)は、前年同月比8.7ポイント増と14ヶ月連続で増加。
- 軽自動車は、同32.2ポイント増加と2ヶ月連続で30%超の大幅な伸びを見せている。



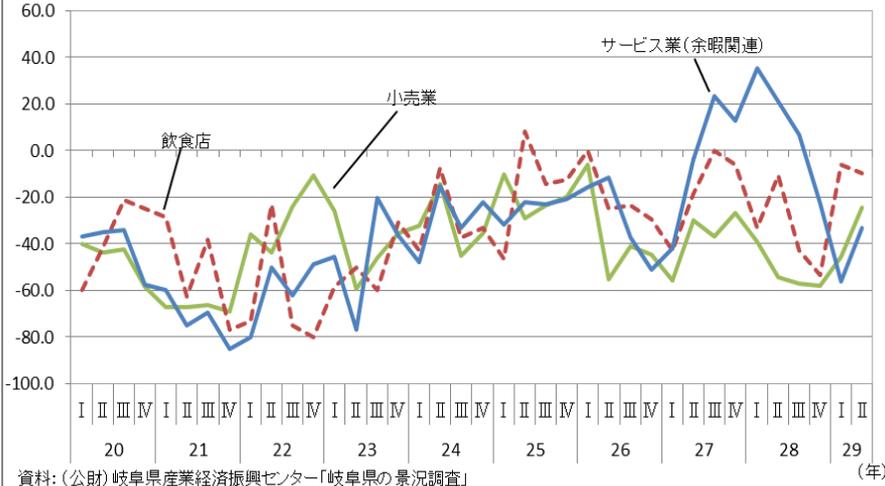
現場の動き

- ◆6月の売上は前年同期比で9%増加。来客は7%増加。新車受注はC-HRが好調で前年同月比110%、サービスは同105%、映画は同102%となる。愛知県の新規商業施設・店舗の開業等を注視している。(大型商業施設)
- ◆売上は前年同月比103%、客数は103%、客単価は99.5%。イベントを通じ地域貢献を図る。(小売スーパー)
- ◆5月の1店舗平均売上高は前年度同月比3%増加。来店客数は同6%の増加。(コンビニ)
- ◆売上は前年同月比78%、客数は同75%、客単価は13,000円。前年が良かったため、悪く見えるが平年並み。オリンピックまであと3年となり、地デジ移行期のテレビの買い替え需要に期待感がある。(家電)

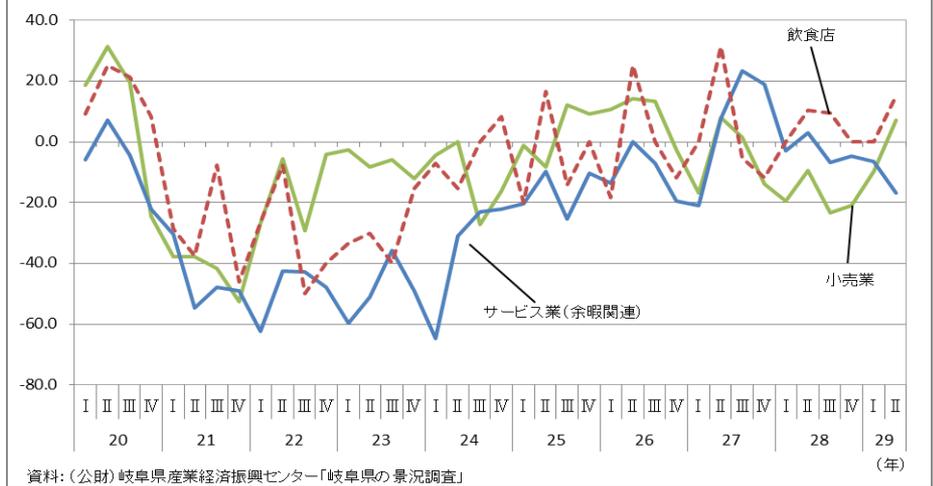
個人消費(流通・小売)ー2

○平成29年4ー6月期の売上高DIは、小売業で21.0ポイント、サービス業で22.9ポイント改善。飲食店については4.1ポイント悪化した。同じく販売価格DIについては飲食店で15.0ポイント、小売業で16.7ポイント改善したが、サービス業は10.2ポイントの悪化となる。

県内企業の売上高DI(増加ー減少)の推移



県内企業の製品販売価格DI(上昇ー下降)の推移



現場の動き

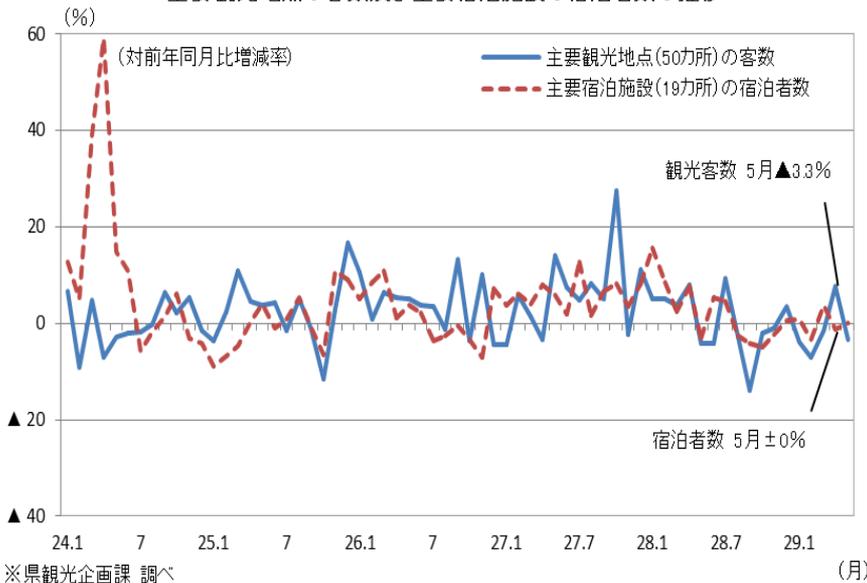
- ◆入館者数は前年同月比で100%を上回っている。館全体売上についても前年同月比で100%を上回る見込み。
- ◆館全体の売上高が前年同月比を上回るのは、平成28年1月以来1年6か月ぶり。(以上、アクティブG)
- ◆ブルーブルーが開店し、人出が増えていると同時に、喫茶店に若い人が入るようになった。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆6月は団体の歩行者が多かった。大垣の駅前に飲食店が2店舗開店。さらに1店舗開店予定。
- ◆売上は婦人服店が前年同月比100%、和菓子店も同100%。(以上、大垣市商店街)
- ◆物販は全体的に良くない。飲食店には観光客が多いが、単価が低く売上アップとはいかない。
- ◆売上は、陶器・土産店が前年同月比95%、衣料品店は同100%。(以上、高山市商店街)
- ◆酒類販売店の売上は同105%。地元陶芸家との企画展の開催により集客がアップし、売上アップにつながった。
- ◆子供服店の売上は前年同月比100%。暑くなり夏物が出ているが、バーゲンの時期が早くなり、それを待っている人もいる。商店街の人通りは変わらないが、これから暑くなると人通りもなくなる。(以上、多治見市商店街)

観光

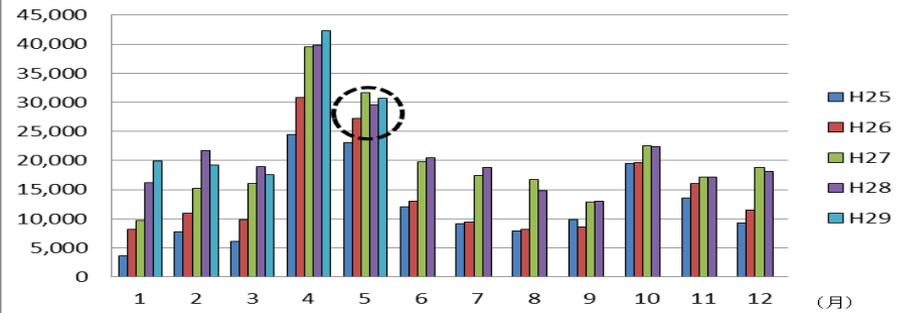
- 主要観光地における5月の観光客数は、前年同月比3.3%の減と2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。
- 一方、主要宿泊施設における宿泊者数は、前年と比較し横ばいとなった。

- 5月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比の増減率では4.2%増と2ヶ月連続で前年同月を上回った。

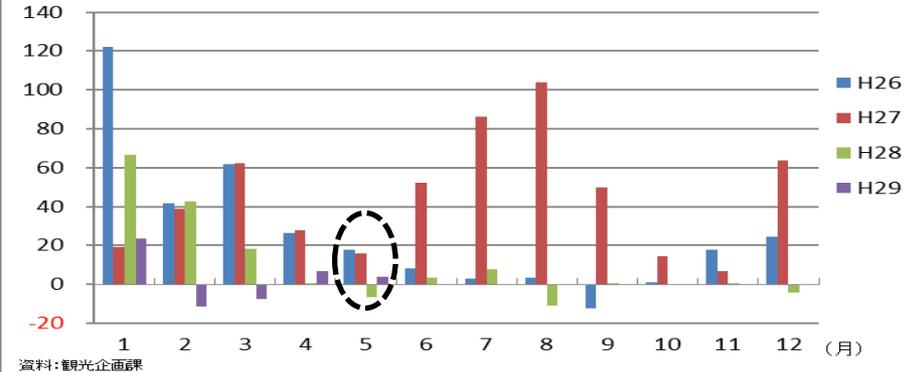
主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移



主要宿泊施設 外国人宿泊客数(対前年比推移)



主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)

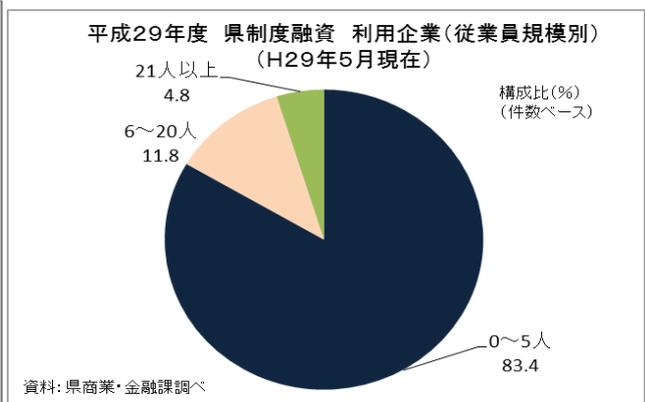
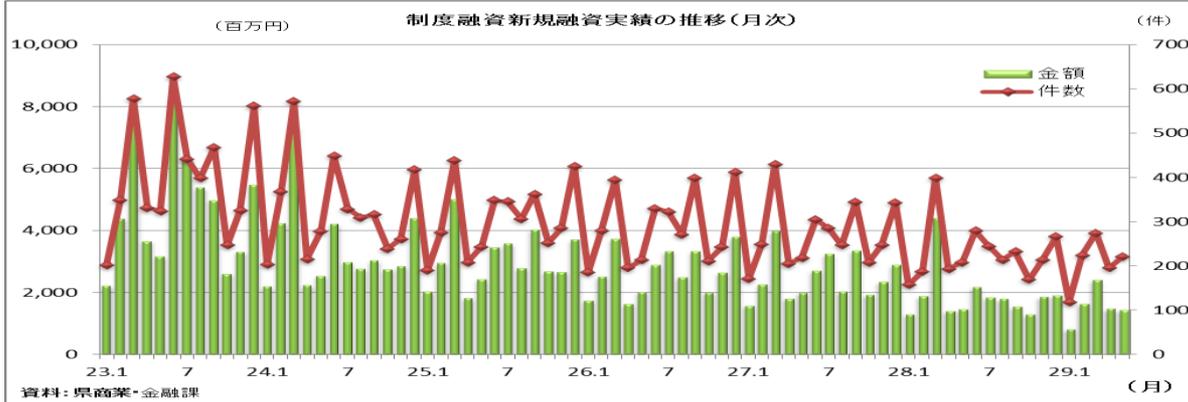
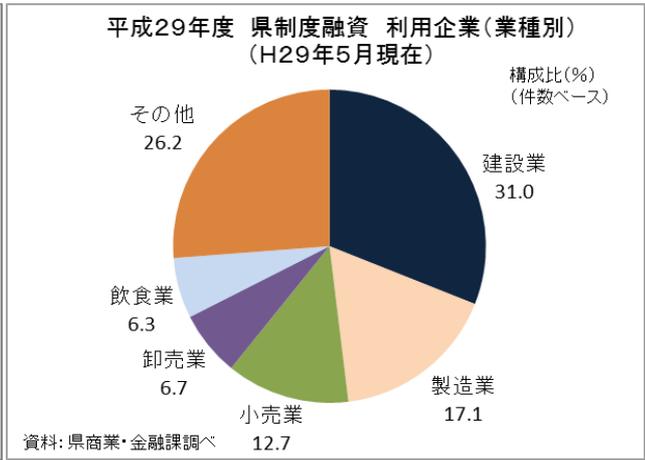
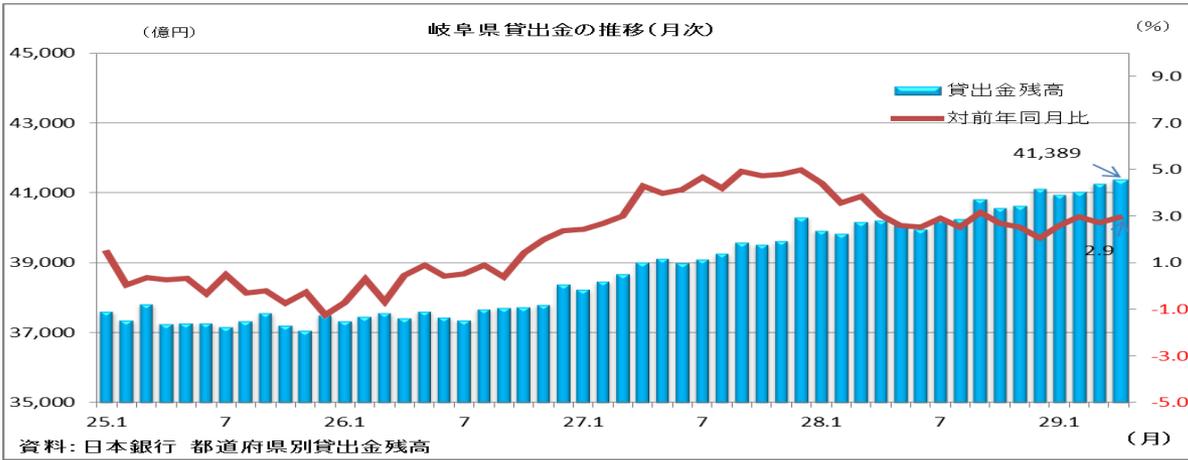


現場の動き

- ◆7月は予約が少ない。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆台湾からの団体旅行があり、インバウンドが大幅増加。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆インターネットからの予約も少ない。(美濃加茂市内の宿泊施設)
- ◆団体は減少しているが個人は堅調。(高山市内の宿泊施設)
- ◆立山黒部アルペンルート、白川郷と併せて宿泊するインバウンド観光客が多い。(高山市内の宿泊施設)
- ◆8月のお盆期間の予約の動きが早い。(下呂市内の宿泊施設)

資金繰り

- 4月の岐阜県貸出金残高は、4兆1,389億円で前年同月比2.9%増と堅調に推移。
- 5月の制度融資実績は、金額が1,444百万円で前年同月比1.6%減少となり、2ヶ月ぶりに前年比減少となった。また、件数は、2ヶ月連続で増加し同6.3%増の221件となり、小口化が伺える。
- 建設業・製造業・小売業の利用が6割以上を占め、従業員5名以下の零細企業が約8割を占める。

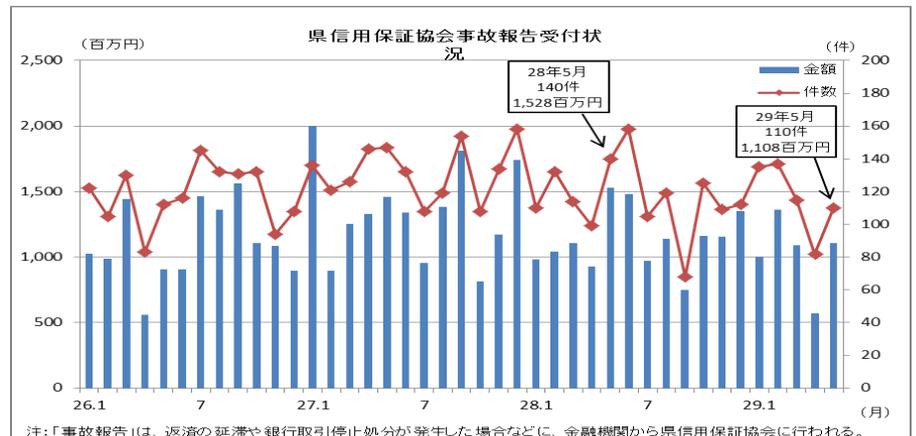
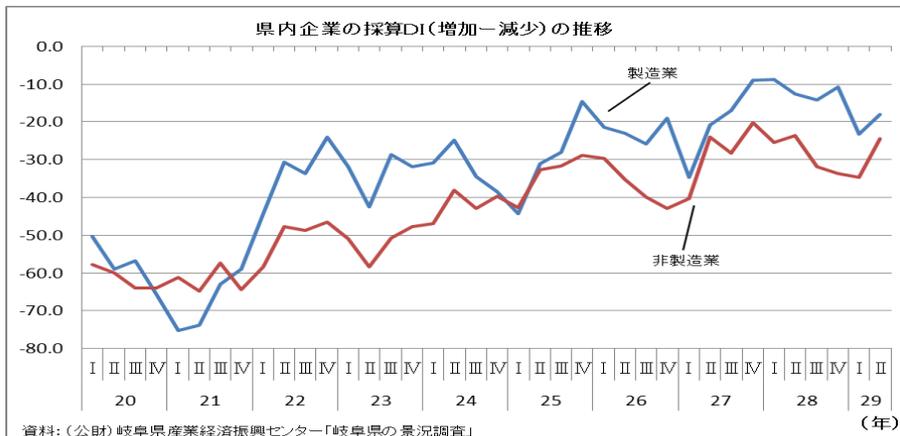
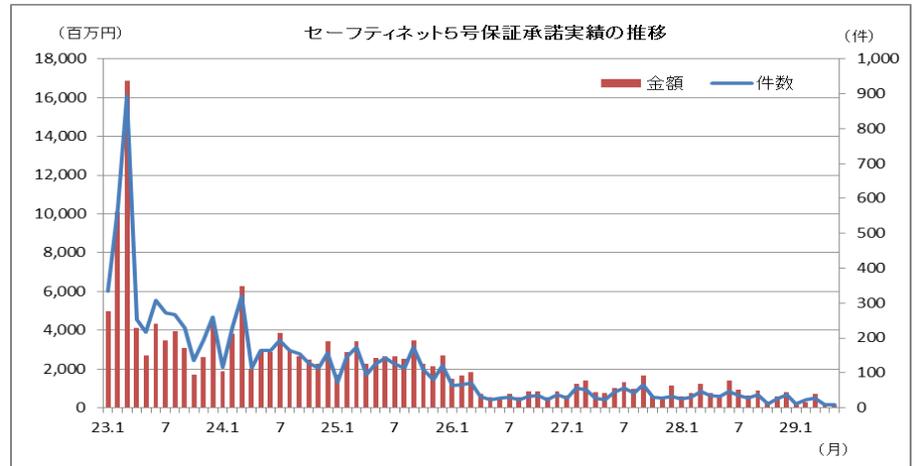
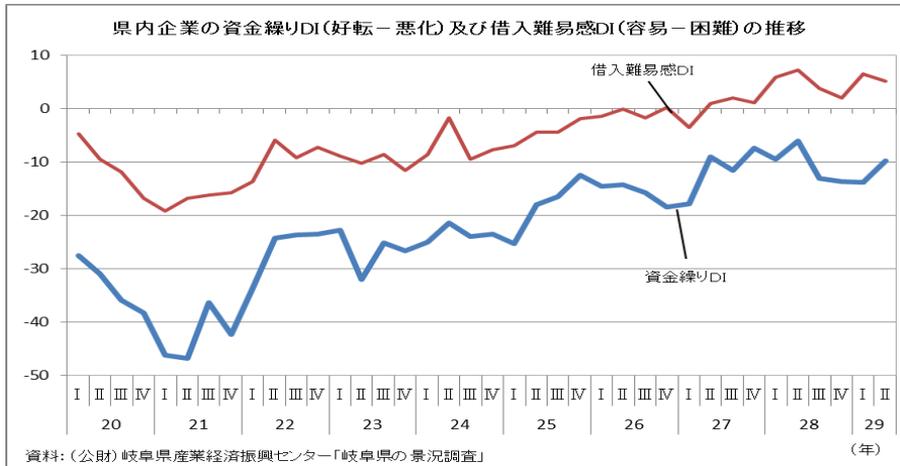


現場の動き

- ◆ 資金は借りやすい状況。他行との競争もあり、金利は一段と下がっている。
- ◆ 雇用は引き続き多くの業種でひっ迫している。人手確保のための賃上げも見られる。(以上、金融)

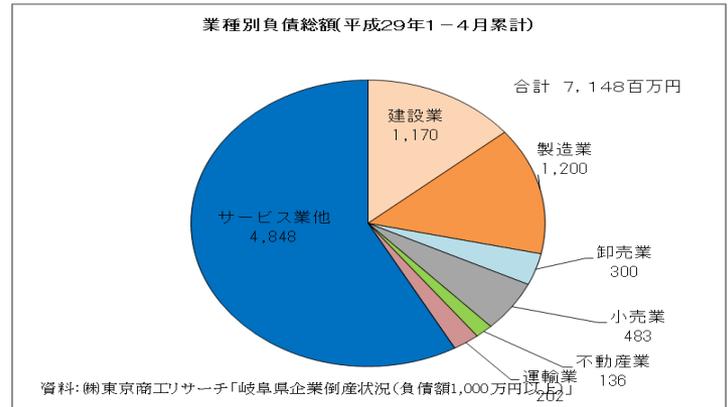
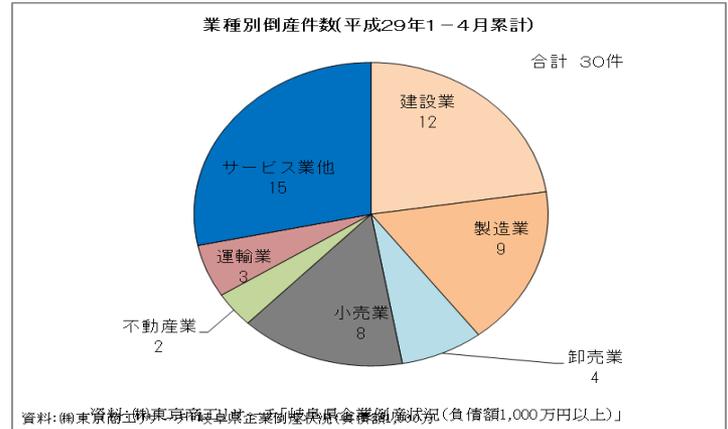
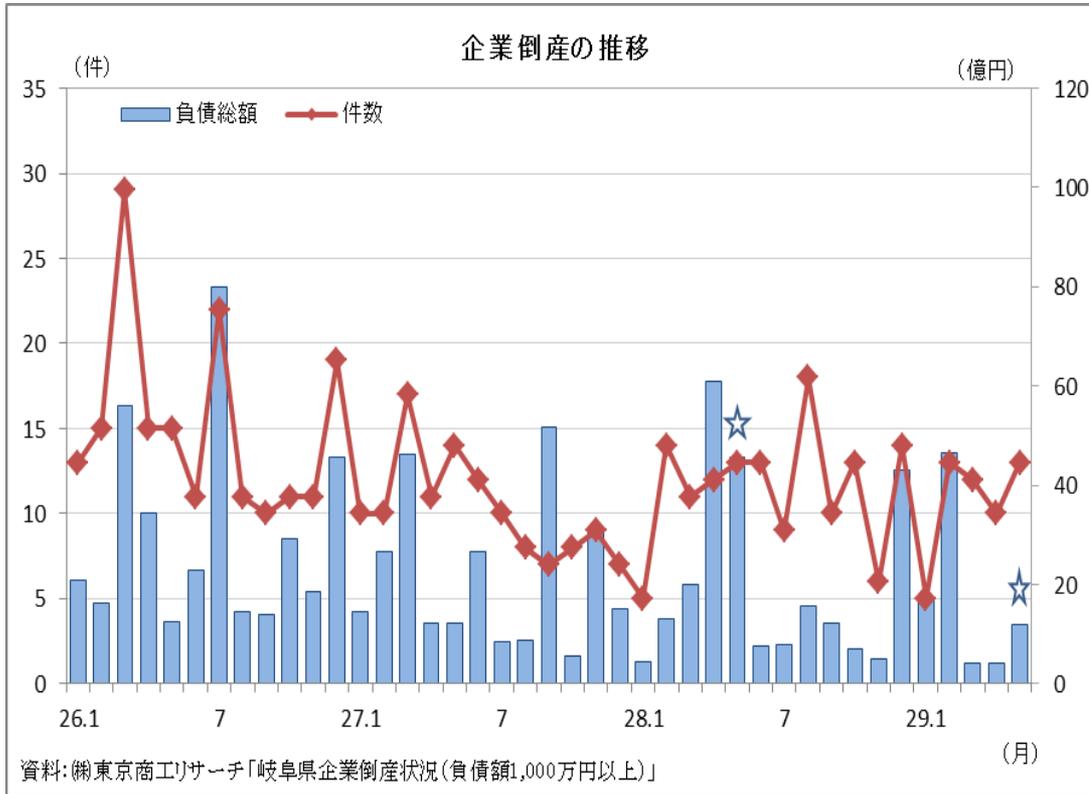
資金繰りー2

- 県内企業の平成29年4－6月期の借入難易感DIは、5.2ポイントと前期比1.3ポイント減少した。一方で資金繰りDIについては、マイナス9.8ポイントだが、前期比4.0ポイント改善した。
- 同じく、県内企業の採算DIは製造業で5.1ポイント、非製造業で10.1ポイント改善した。
- セーフティネット5号保証承諾実績は、件数が前年同月比75.0%減少し8件。金額が同69.1%減少し171百万円と、経済状態が落ち着く中で、利用は低調に推移している。
- 平成29年5月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数が110件で前年同月比▲21.4%と2ヶ月連続で減少。金額は1,108百万円で同▲27.5%と3ヶ月連続で減少した。



倒産

○5月の倒産件数は前年同月比±0件の13件。負債総額は同74.0%減少し11億91百万円。
○前年同月比で負債総額は大幅に減少しているが、件数は同数であり、小口化が進んでいる。



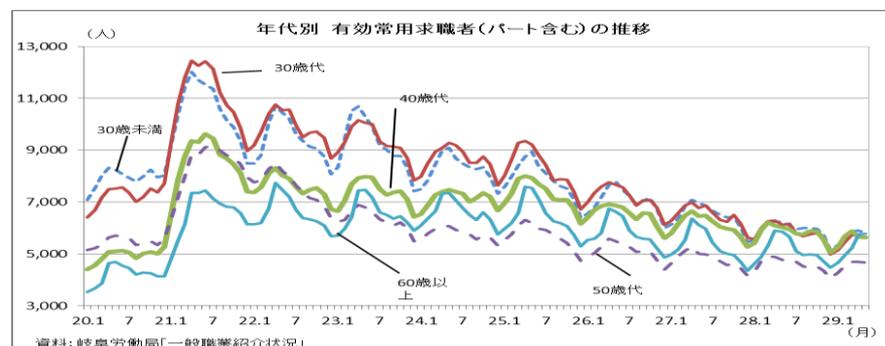
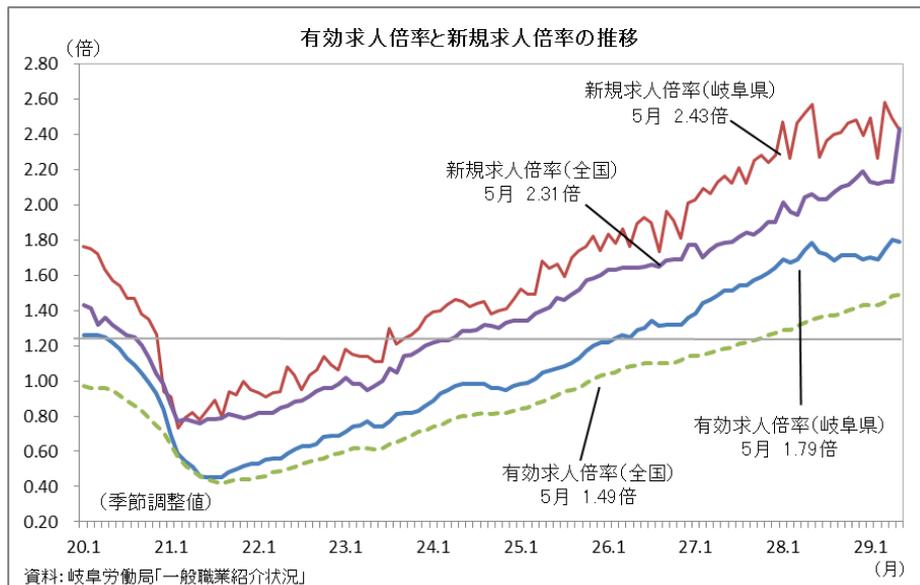
専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆5月は前月と比較し、件数・負債総額ともに増加となったが、依然として全体的には小規模倒産を中心に推移。
- ◆1月から5月までの累計倒産件数は53件、前年同期間の55件から2件減少。
- ◆倒産動向は引き続き落ち着いており、当面についても急激な変動は予測しづらいものの、倒産回避を主眼とした金融面の政策支援策が転換されつつある中、金融再編の動きも見られ、中小零細企業を中心に資金調達環境が厳しさを増す可能性があり、結果、資金繰りに窮した企業の倒産が徐々に増勢に転じる懸念も拭えない。

雇用

- 5月の有効求人倍率は1.79倍と前月より0.01ポイント下降。前月に続き全国第5位。
- 5月の新規求人倍率は2.43倍と前月より0.06ポイント減少した。

- 5月の雇用保険受給者人員は前年同月比5.4%減と47ヶ月連続で前年を下回る。



現場の動き

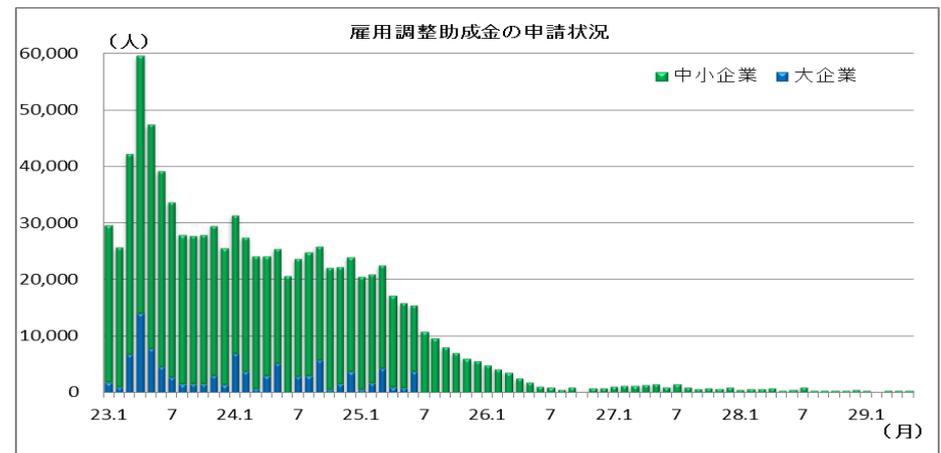
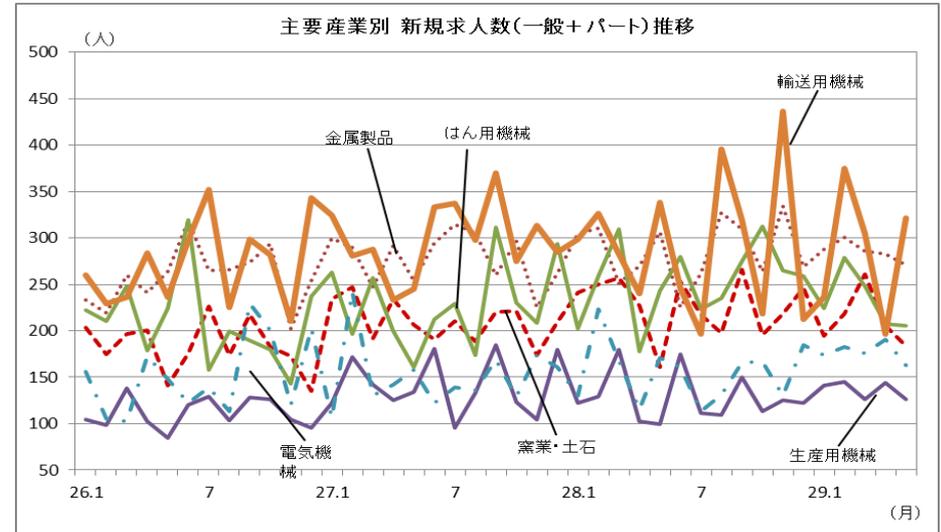
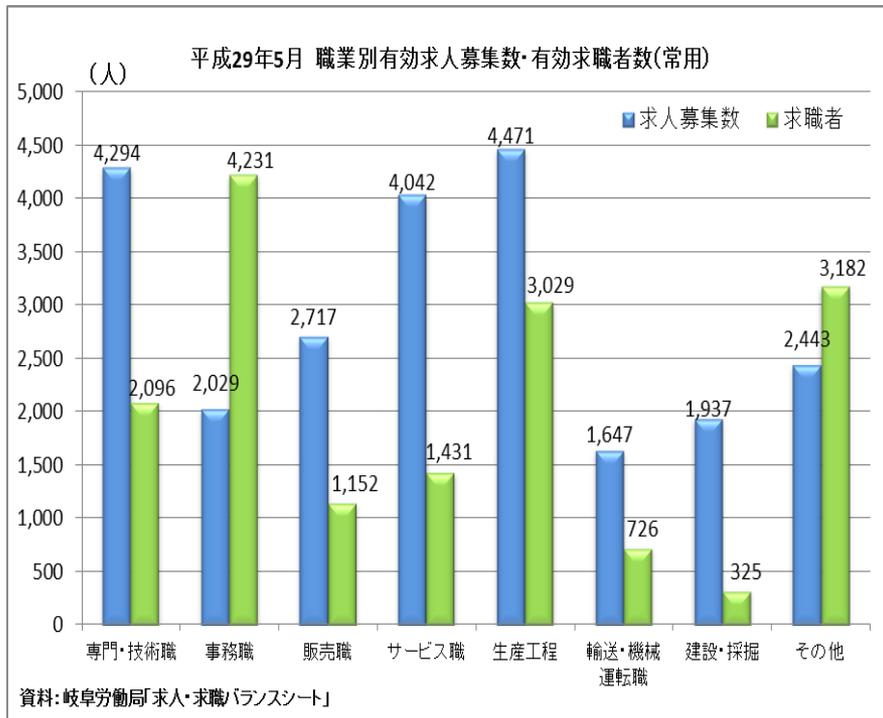
- ◆年中、採用の窓口は開けているが、即戦力となる優秀な人材はなかなか確保できない。(輸送用機械)
- ◆売上が前年比で10%程度増えていることもあり、派遣を中心に1割人員が増えたが、若くて有能な正社員はなかなか採れない。(輸送用機械)
- ◆今春の採用は無し。来春は大卒技術系の採用に向けて動いているが、大変厳しい状況。(金属製品)
- ◆募集に対する応募はあるが、最終的に辞退されるケースが増えている。要因としては複数社応募し、結果を見て賃金水準の高い名古屋方面の同業者へ流れていくことが考えられる。(運輸業)
- ◆求人しているが人が来ない状況。新卒を入りたいので、農林高校や森林文化アカデミーで求人している。(製材)
- ◆パート・バイトは確保されているが、専門店の社員スタッフは不足気味。(大型商業施設)

雇 用(職業別)

○建設・採掘の求人倍率約6倍を筆頭に、専門・技術職、販売職、サービス職、運転職で求人倍率が2倍を超えるなど、引き続き各分野において人手不足が顕著となっている。

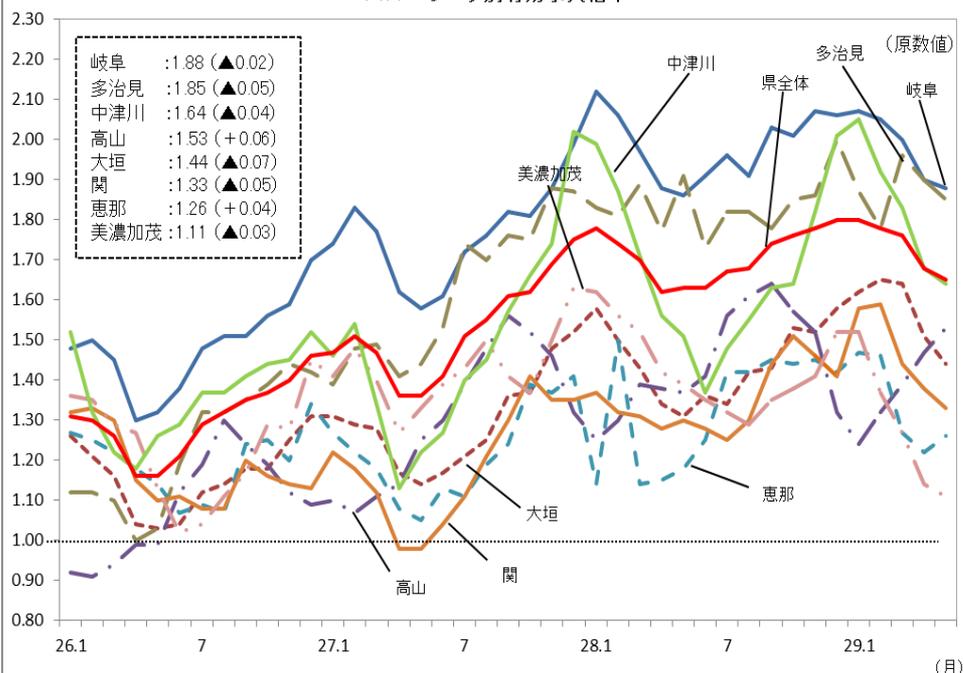
○一方で、事務職の求人倍率は0.5倍以下に留まるなど求職者のニーズと、求人側のニーズにはミスマッチが続いている。

○5月の主要産業の新規求人数は、前年同月比で生産用機械が27.3%、窯業・土石が14.3%それぞれ増加した一方で、はん用機械15.6%、金属製品11.7%、輸送用機械5.0%、電気機械4.7%それぞれ減少した。



雇用(地域別)

ハローワーク別有効求人倍率



注1: 大垣所分は損斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

○5月のハローワーク別有効求人倍率は、高山と恵那で上昇が見られるが、そのほかの地域は下降となっている。
○雇用保険受給者は高山で増加が見られる。

現場の動き(先月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数ともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数ともにやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数ともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

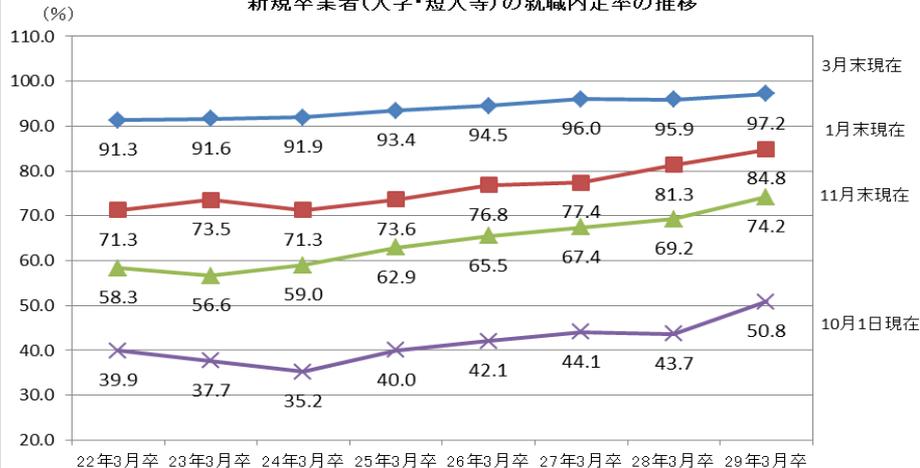
<窓口の様子>※前月比

- ◆高山でやや混雑している。
- ◆大垣、多治見、美濃加茂でやや空いている。

雇用(大学・短大新卒者の就職)

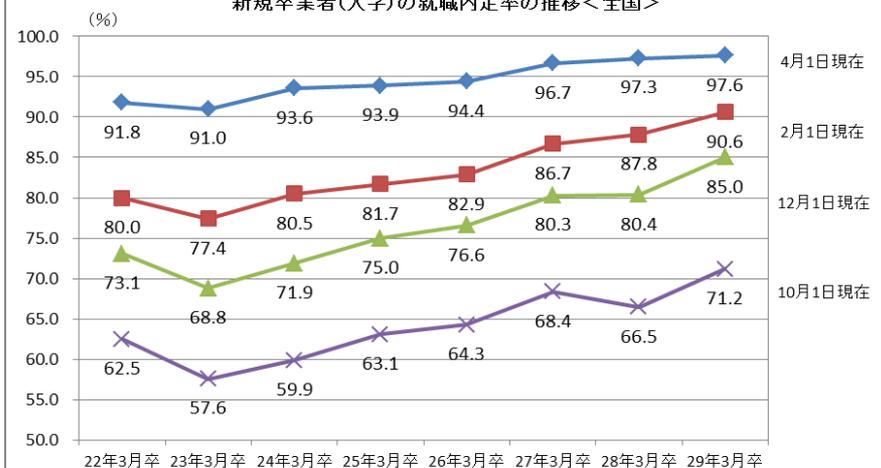
○3月末時点の大学・短大卒業者(平成29年3月卒業)の就職内定率は、前年比1.3ポイント増の97.2%となり、直近8年で最も高い内定率となる。

新規卒業者(大学・短大等)の就職内定率の推移



資料: 岐阜労働局「新規大学等者の就職状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(平成30年3月卒の動き等)

<企業動向>

- ◆企業は早くも最終面接から内々定出しの最終フェーズに入っている。6月1日の選考開始日が実質的に内々定告知日という傾向が昨年よりも強く、採用活動の短期化の傾向が顕著になっている。
- ◆中堅中小企業では例年以上に内定辞退などが出ている印象が強い。

<学生動向>

- ◆6月15日時点の内々定率は67.7%。5月末時点と比べて14.4ポイント増加。
- ◆学生が企業を選ぶ基準は企業規模によって異なっている。大手企業中心に活動する学生が業界内での順位や給与水準を重視するのに対し、中小企業中心の学生は希望勤務地で働けるか、社内の人間関係が良いかなどをポイントに挙げている。

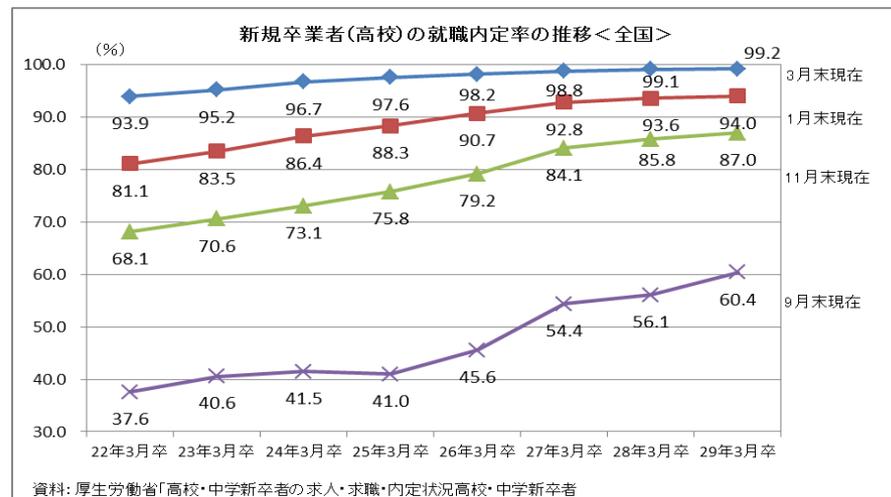
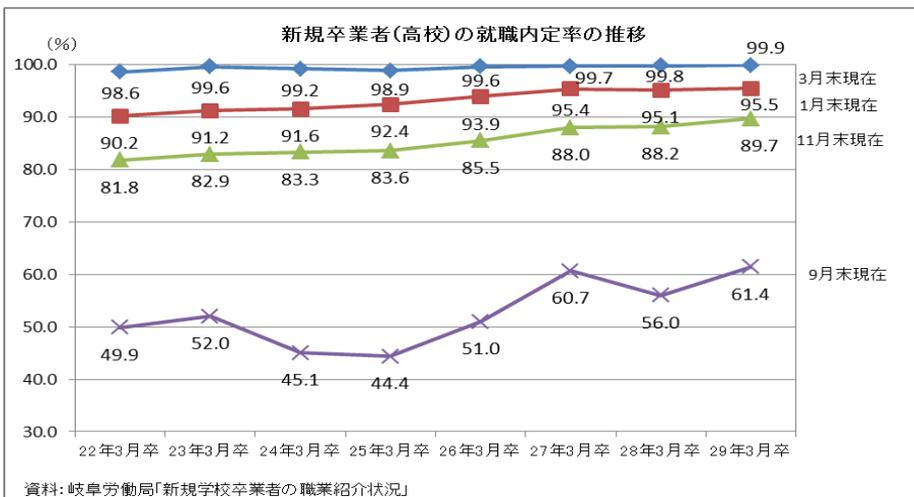
(以上、マイナビレポートより抜粋)

<大学へのヒアリング>

- ◆内々定率は各大学において集計中。企業からの内々定が昨年度よりも早い印象。
- ◆3年生はインターンシップ先の選定を進めており、夏季インターンシップに参加する学生も昨年より多いのでは。

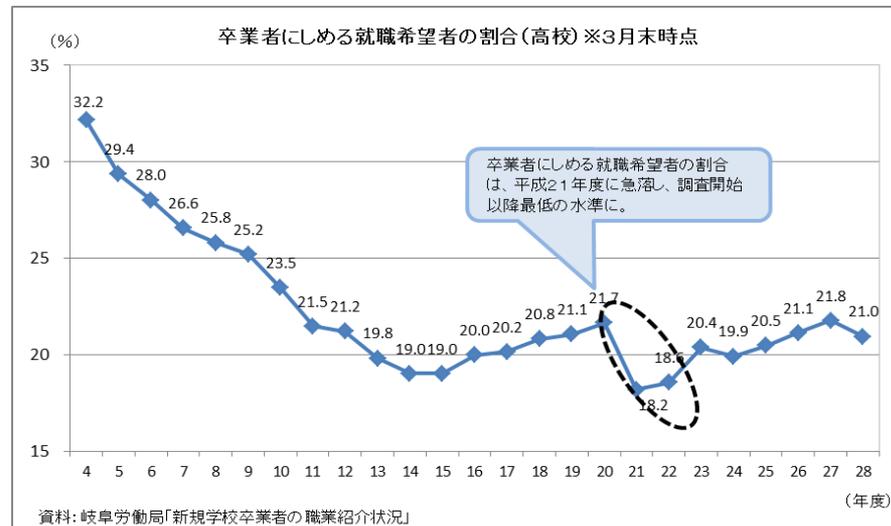
雇 用(高校新卒者の就職)

- 3月末時点の高校卒業者(平成29年3月卒業)就職内定率は、前年比0.1ポイント増の99.9%となり、直近8年で最も高い内定率となると同時に、全国の就職内定率を大きく上回っている。
- 全国の就職内定率は昭和63年以降で最高水準となる。
- 平成28年度卒業者における就職希望者の割合は、4期ぶりに低下した。



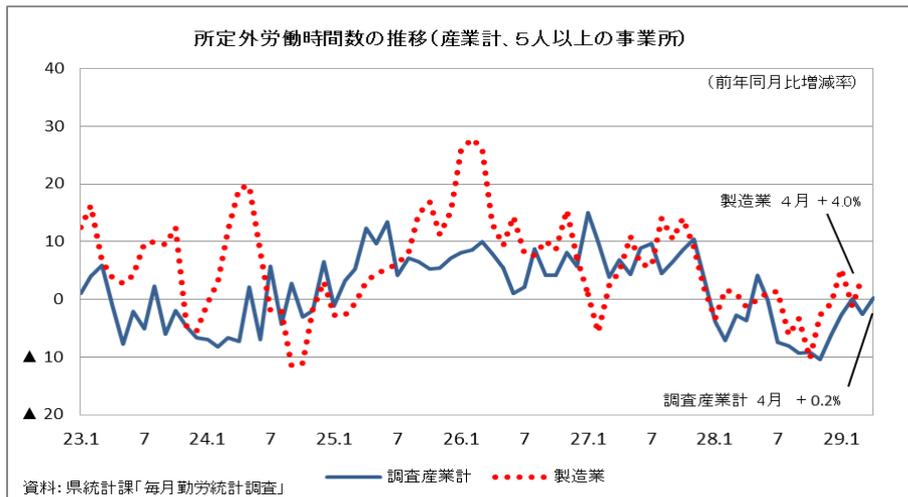
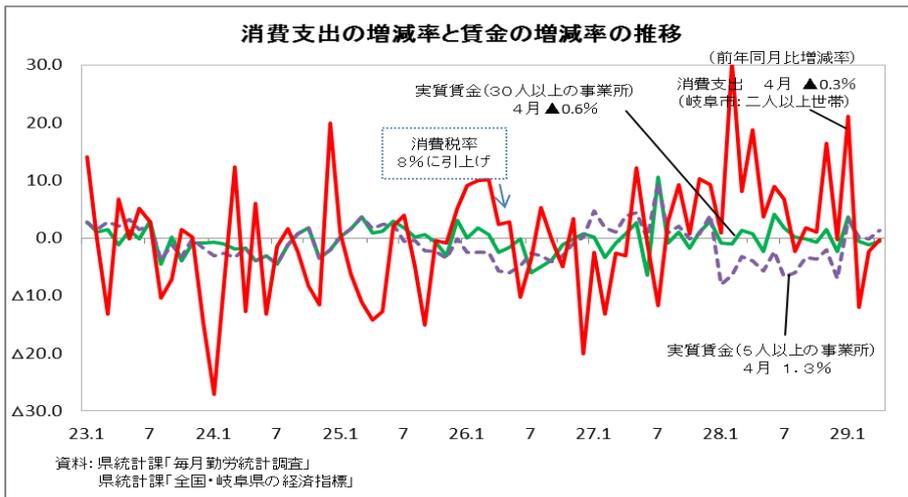
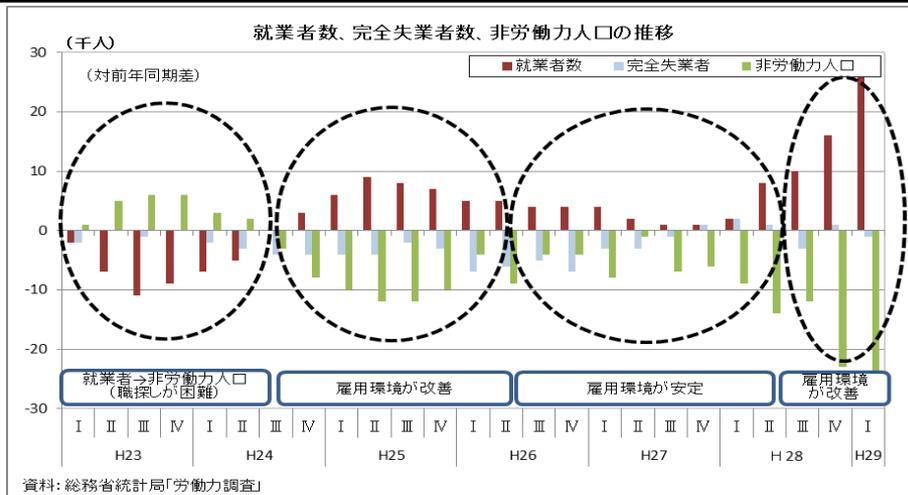
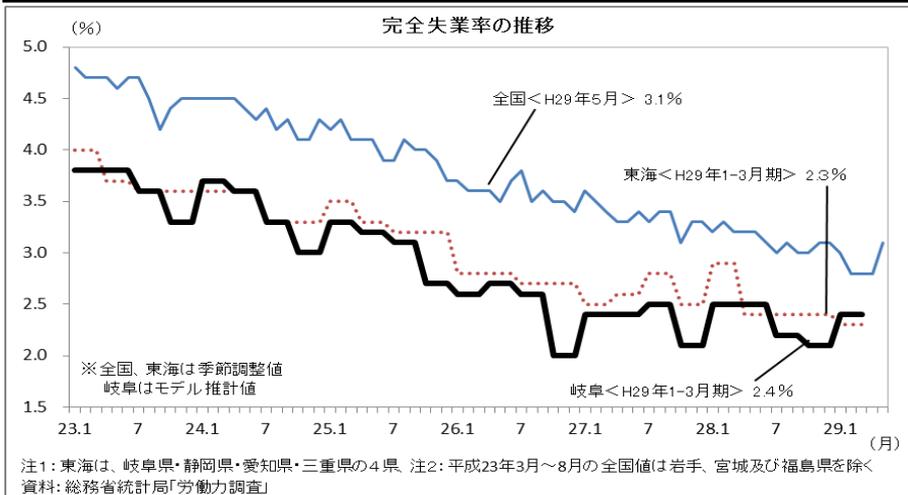
現場の動き(H30.3卒の求人状況)

- <ハローワーク岐阜> 求人は増加。
- <ハローワーク大垣> 求人は横ばい。
- <ハローワーク多治見> 求人はやや増加。
- <ハローワーク高山> 求人は横ばい。
- <ハローワーク恵那> 求人は横ばい。
- <ハローワーク関> 求人はやや増加。
- <ハローワーク美濃加茂> 求人は減少。
- <ハローワーク中津川> 求人は増加。



雇 用(完全失業率等)

- 全国の5月の完全失業率は3.1%と前月比0.3%上昇。岐阜県の平成29年1-3月期の完全失業率は2.4%と、依然として全国平均と比較して低い水準で推移している。
- 4月の賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比1.3%増加したが、30人以上の事業者は同0.6%減少となる。消費支出については同0.3%減少となるものの、マイナス幅は縮小している。
- 4月の所定外労働時間数は前年同月比0.2%増加。製造業においては4.0%増加した。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、引き続き輸送用機械（主に自動車産業）は好調を維持しており、金属製品やプラスチック製品などの幅広い産業で底堅い動きが見られ、全体としては上向きの動きが継続している。
- 地場産業は、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫など厳しい状況が継続しているが、生産に持ち直しの動きもみられる。
- 設備投資は、設備投資意欲が改善し、人手不足への対応のために「生産能力拡大・売上増」、「合理化・省力化」といったニーズが高まる中、国内の金属工作機械受注額が、前年同月比で大幅に増加するなど、底堅く推移している。
- 個人消費は、新車販売台数や軽自動車の販売台数は引き続き堅調な推移を見せていることに加えて、大型小売店等の売上が3カ月ぶりに前年同月比でプラスとなるなど、総じて持ち直しの動きが継続している。
- 観光は、日並びの関係で前年と比べ、GWの休日の数が1日少なかったことも影響し、公園等を中心に減少傾向となった。一方、宿泊施設は、横ばいとなった。
- 企業の資金繰りは、借入難易感が高止まりし、借入しやすい状況が継続するなか、資金繰りDIも改善しており、全体的には事故報告や倒産件数も減少傾向にある。一方で経営体力に乏しい小規模企業においては厳しい状況が継続している。
- 雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は着実に改善している。但し、人材が大手企業に流れ、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化している。